

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C	
横断的な課題	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり					
地域重点政策	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり					
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	東信州日本酒・ワインツーリズム事業				電話	0267-63-3157、3158
					E-mail	sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業	目的 (目指す姿)	東信州エリアで連携し、酒類(日本酒・ワイン・クラフトビール等)や特産品の魅力発信・販路拡大とともに、日本酒・ワインツーリズムと軸とした広域観光の推進を図る。				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東信州エリアには全国トップクラスの品質を誇るワインを醸造するワイナリーや、日本酒の酒蔵、クラフトビール・ウイスキーの蒸留所が集積し、観光客等を引き付ける魅力がある。 ・その魅力を活かし、エリア内で観光客の半数が訪れている軽井沢や白樺湖周辺への観光客や滞在者をターゲットに良質な酒類のPR活動を行い、消費と誘客の拡大を図ることが必要。 ・また、若い世代の日本酒離れが顕著になっており、20代・30代に対して日本酒を飲んでもらえるような仕掛けをしていく必要がある。若者に佐久地域の日本酒を知ってもらい、一緒に課題解決を図ってもらえるような仕組みづくりが必要である。 ・千曲川ワインバレー東地区については、ワイナリーが多数存在する上田地域振興局でPRを行ってきたが、今後は新たに誕生したワイナリーを含め、佐久・上田・長野振興局が連携してPRを推進する。 				
概要	内容 (変更後の内容)	<p>①日本酒・ワインツーリズム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道観光列車「ろくもん」を貸し切り(軽井沢駅～上田駅間)、東信州地域の特産品(酒類・農畜産物加工品等)を提供・PRするツアーを実施。 【日時】令和6年11月16日(土) 【場所】軽井沢駅～上田駅間のしなの鉄道観光列車ろくもん列車内及び沿線周辺 【ターゲット層】東信州地域の特産品に関心を持つ県内外の消費者等 【参加者数】60名 ・小諸蒸留所ウイスキーフェスティバル2025の開催に合わせ、お酒や特産品のブースの出店と観光PRを行う。併せて、小諸市内の周遊効率向上のために無料周遊バスを増便する。 【日時】令和7年3月1日(土)から2日(日)の午前10時から午後6時まで 【場所】ほんまち町屋館(小諸市) 【ターゲット層】東信州地域の特産品に関心を持つ県内外の消費者等 【参加者数】600名 				
		<p>②ShinXia(大学生)と連携した佐久地域日本酒振興プロジェクト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ShinXiaに関わる大学生とShinXiaの対象大学の上級生に対して募集をする。参加する大学生には「自分たち(参加している大学生)にとって、日本酒をより身近に、より魅力的にするためにはどうすればよいか」という課題を与える。課題解決の一助として2泊3日の合宿形式で県職員、佐久地域の酒蔵、その他日本酒関係者と意見交換会を開催し、酒蔵見学を実施する。様々な議論や体験をとおして前述の課題に対する施策提案をしてもらう。具体的には、事業内容の説明会、キックオフミーティングと資料や佐久地域の酒蔵の声の共有、事前意見交換会、2泊3日の合宿形式のイベント(9月4～6日予定)を開催する。施策提案は佐久13蔵に共有する。また来年度もSPARCとの連携に期待する。 ※ShinXia:「地域活性化人材」を育成する仕組みであるSPARC(文科省・経産省が推進する事業)の内、信州大学・長野大学・佐久大学が連携して、「しあわせ信州」を創造し、学生の主体性をどう引き出すかを追求する地域活性化高度人材育成プログラム 				
事業期間	令和6年7月		～	令和7年3月		

佐久地域振興局

(単位:円)

事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	日本酒・ワインツーリズム事業	しなの鉄道ろくもん貸切列車ツアー	1,204,000		
	〃	「東信州特産品PRブース出店」(小諸蒸留所ウイスキーフェスティバル)	456,697		
	ShinXia(大学生)と連携した佐久地域日本酒振興プロジェクト事業	信州佐久酒蔵フィールドトリップの実施	174,167		
合 計			1,834,864		
指標 状況 及び 達成	成果指標		目標値	成果	達成状況
	①ツアーの参加者		50名以上	60名	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成
	①ブース来客者		400名以上	600名	
	②意見交換会・視察ツアーの参加者		10名以上	26名	
事業 実績 ・ 成果	<p>・しなの鉄道観光列車ろくもんを活用したツアーを開催し、長野県内外から来た参加者に秋の東信州(軽井沢～小諸～上田)の魅力を東信州の日本酒・ワイン・和御膳弁当や小諸市の懐古園散策とともにお楽しみいただいた。これまで地域外の方にあまり知られていなかった酒類を提供したところ、大勢の方から購入場所や製造方法について質問が寄せられるなど、反響があった。</p> <p>・小諸蒸留所ウイスキーフェスティバル2025において、共催団体としてほんまち町屋館の特設会場で東信州の日本酒・ワインや特産品の試飲・試食・販売を通してその魅力を発信した。当日は長野県内外のほか、外国人観光客が来訪した。ピークタイムにはブース内が人で溢れるほど盛況であり、「帰ってから飲みたいから購入します」や「小諸市全体が盛り上がっていて嬉しいね」など好評の声が多く寄せられた。</p> <p>・ShinXia(大学生)に関わる学生と佐久地域の日本酒関係者とともに信州佐久酒蔵フィールドトリップを開催し、学生から日本酒を身近に感じてもらうための施策を提案してもらった。また提案の検討過程での酒蔵見学や有識者からの解説等を通じて、佐久地域の日本酒について周知することができた。</p>				
	今後の方向性	<p>・佐久地域のワイン・日本酒の魅力を発信するべく、イベント列車や地域イベントを活用し、PR活動を継続して行っていく。</p>			